

第15回 信州登山案内人試験【共通問題】

各設問の解答を、解答用紙に記入すること。

(信州登山案内人条例、長野県登山安全条例、法的責任)

問1 長野県登山安全条例第8条に規定されている登山ガイドの役割に関する記述のうち、誤っているものを2つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 山岳遭難の未然防止並びに山岳遭難者の捜索及び救助に努めるものとする。
- (イ) 山岳に係る地理的及び自然的特性等並びに登山に関する知識の習得並びに登山に関する技術の向上に努めなければならない。
- (ウ) 県、市町村、山岳遭難防止対策協会等と連携し、登山者等に対する安全な登山のための情報の提供に努めるものとする。
- (エ) 登山者に対して山岳の魅力を伝えとともに、登山者の安全確保に努めなければならない。

問2 信州登山案内人条例の目的に関する記述について、正しいものを2つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 長野県の観光振興に寄与すること。
- (イ) 登山等を行う者の本県への来訪及び滞在を促進すること。
- (ウ) 山岳県にふさわしい登山の安全対策を総合的に推進すること。
- (エ) 登山を安全に楽しむための施策の基本となる事項等を定めること。

問3 信州登山案内人条例の規定について誤っているものを2つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 有効期限後も信州登山案内人になろうとする者は、更新の登録を受けなければならない。
- (イ) 信州登山案内人の登録証を他人に貸与する場合は、あらかじめ知事の許可を得なければならない。
- (ウ) 信州登山案内人の登録の有効期間は、3年とする。
- (エ) 登録の有効期限切れでも、2年以内に更新要件を満たせば再受験することなく申請ができる。

問4 長野県登山安全条例上、山岳（指定登山道）を登山するときに、遵守しなければならないことを2つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 山岳の特性を知り、周到な準備をすることが山岳遭難の未然防止につながることを認識すること。
- (イ) 遭難したときの捜索又は救助の費用に対する保険金が支払われる山岳保険に必ず加入すること。
- (ウ) あらかじめ登山計画を作成し、登山計画書を届け出ること。
- (エ) 季節及び気象状況に応じた服装を用い、最低限必要な装備品のみを携行すること。

問5 次の文中の①～②にあてはまるものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

1. 山岳ガイドは、ガイド業務において参加者の生命・身体の安全に配慮し、危険を予見した場合には、その危険を回避・軽減するために適切な判断・指示を行うことが求められる。このような義務に違反した場合、民法上の 違反として民事上の責任を問われることがある。
(ア) 監督義務 (イ) 旅程管理義務 (ウ) 安全配慮義務 (エ) 忠実義務
2. 次のうち、山岳ガイドの法的責任の理解として不適切なものは である。
(ア) ガイドは参加者に危険に関する情報や判断理由を状況に応じて説明すべき義務がある。
(イ) ガイドは安全措置を実施する義務があり、参加者全員の同意がなくても危険回避のために行動の中止や引き返しを指示できる。
(ウ) ガイドは、普通に注意をしていれば予見することができた危険性について、その結果を回避し、参加者の安全確保を行う義務がある。
(エ) ガイドから危険性の説明を受けた上で参加者が自ら山行の続行を選択した場合、ガイドは以降の安全確保義務を負わない。

(自然公園)

問6 自然公園について、次の文中の①～⑩にあてはまるものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

1. 自然公園法は、優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、
 に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的としている。
(ア) 国土保全機能の向上 (イ) 山岳文化の伝承 (ウ) 希少動植物の保護
(エ) 国民の保健、休養及び教化
2. 自然公園法で定める自然公園とは、国立公園、国定公園及び をいう。
(ア) 都道府県立自然公園 (イ) 国民公園 (ウ) 国営公園 (エ) 都市公園
3. 長野県にある国立公園は、妙高戸隠連山、中部山岳、上信越高原、秩父多摩甲斐、 の5地域である。
(ア) 信州アルプス (イ) 北アルプス (ウ) 中央アルプス (エ) 南アルプス
4. 長野県登山安全条例第15条の規定により、長野県山岳環境連絡会における協議を経て策定された「山岳の環境保全及び適正利用の方針(令和4年2月改訂)」において山岳の適正利用に関する12の基本ルールのうち、正しいものを次から2つ選びなさい。(④)(⑤)
(ア) トレイルランニングは原則禁止する
(イ) 外来種・家畜病対策で入山前後に泥や種子を落とす
(ウ) 雪のない登山道ではストックに保護キャップを付ける
(エ) 指定地以外でのテント設営は、緊急避難時以外絶対行わない
5. 中部北陸自然歩道は、中部北陸地域のすぐれた風景地を歩くことにより、沿線の豊かな自然環境や自然景観、さらには歴史や文化に触れ、親しむためのみちで、中部北陸地域の8県(群馬県、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、滋賀県)を結んで整備された長距離自然歩道で、長野県内には34コースあり、総延長は約 km である。
(ア) 444 (イ) 555 (ウ) 666 (エ) 777
6. 長野県版レッドリスト(2015年)において、絶滅危惧IB類に分類されているライチョウを絶滅から守るために、長野県が登山者に呼び掛けていることは次のうちどれか。(⑦)
(ア) 目撃情報を専用アプリへ投稿する (イ) キツネやカラス等他の動物を追払う
(ウ) ライチョウに高山植物を採って与える (エ) 近づかないようドローンで撮影する

7. 長野県自然保護レンジャーは、及び適正な利用並びに自然環境の保全に関する意識の高揚を図るため、ボランティアとして活動している。
- (ア) 自然ガイド (イ) 自然公園などの保護 (ウ) 遭難者の捜索 (エ) 森林の伐採
8. 山小屋関係者等が行う登山道の維持や登山安全対策などに活用するために、登山者の方に協力してもらう登山(者)協力金の取組が、長野県内でも北アルプス南部に続き、令和7年度に新たに北アルプス北部、で始まった。
- (ア) 中央アルプス (イ) 戸隠 (ウ) 南アルプス (エ) 八ヶ岳
9. 長野県では、自然公園の優れた自然環境を適切に保護するとともに利用促進を図るため、霧ヶ峰、乗鞍、自然保護センター及び御嶽山ビジターセンターの4施設を運営している。
- (ア) 志賀高原 (イ) 拇池 (ウ) 上高地 (エ) 美ヶ原

(読図)

問7 次の①～④の国土地理院の地図記号は、それぞれ何を表しているか正式名称を書きなさい。

①	②	③	④
			

問8 次の文中①～⑥にあてはまるものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

1. 右の地図記号は、地表の限られた部分だけがへこんでいる地形である。
等高線の短径が、図上未満のものを凹地(小)として表示している。
- (ア) 3ミリ (イ) 4ミリ (ウ) 5ミリ (エ) 6ミリ
2. 谷や川の右岸、左岸はに向かって右、左の岸のことである。
- (ア) 下流 (イ) 上流 (ウ) 本流 (エ) 支流
3. 国土地理院が発行した2万5千分の1の地形図では、地図上の4cmは実際にはである。
- (ア) 250m (イ) 500m (ウ) 1,000m (エ) 2,000m
4. 国土地理院が発行した2万5千分の1の地形図では、50mごとに引かれている等高線はである。
- (ア) 水平線 (イ) 主曲線 (ウ) 計曲線 (エ) 補助曲線
5. 地図では、等高線が小さく輪になって閉じ、内側ほど標高が高くなっている場合、最も標高が高いところをという。
- (ア) 鞍部 (イ) 谷 (ウ) 尾根 (エ) ピーク
6. 尾根の太さは、等高線の曲部の幅を見る。曲部の幅が狭いと、尾根はなっている。
- (ア) 長く (イ) 短く (ウ) 細く (エ) 太く



(植物、植生、動物)

問9 植物、植生、動物について、次の文中の①～⑪にあてはまるものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

1. 植物は、光合成により二酸化炭素と水から□①と有機物を作り出している。この働きは、全ての生態系サービスの供給を支える基盤サービスとなっている。
(ア) 水 (イ) 食品 (ウ) 酸素 (エ) 窒素
2. 本州の中部山岳では、標高がおよそ 2400～2600 メートルを超えると、高木による森林が成立しなくなる(亜高山帯森林植生の上限)。これを□②と呼ぶ。
(ア) 垂直分布 (イ) 森林限界 (ウ) 植物限界 (エ) 水平分布
3. 長野県の高山植物には、約 1 万年前までの氷期に北方から南下して、その後の間氷期(温暖期)に分布を狭める中で、高山に生き残った□③で、かつ、世界的な分布南限となっているものが多い。
(ア) 園芸種 (イ) 固有種 (ウ) 希少種 (エ) 遺存種
4. 長野県では希少野生動植物保護条例で、野生個体の採取等を禁じた指定希少野生動植物を指定している。高山植物では、□④のみに分布し長野県固有種であるコマウスユキソウ(別名ヒメウスユキソウ)や、本州では飛騨山脈(北アルプス)と□⑤のみに分布するツクモグサなどが指定されている。
④ (ア) 木曽山脈(中央アルプス) (イ) 赤石山脈(南アルプス)
(ウ) 飛騨山脈(北アルプス) (エ) 八ヶ岳
⑤ (ア) 木曽山脈(中央アルプス) (イ) 赤石山脈(南アルプス)
(ウ) 志賀高原 (エ) 八ヶ岳
5. 国の特別天然記念物には、北海道のアポイ岳高山植物群落など高山植物も指定されているが、長野県を含む本州の中部山岳では、□⑥が指定されている。高山植物の特別天然記念物は、蛇紋岩等の特殊岩石地植物群落がいずれも選定されている。
(ア) 白馬連山高山植物帯 (イ) 千畳敷カール (ウ) 北岳高山植物群落 (エ) 戸隠連山
6. 中部山岳の高山帯に優占する針葉低木のハイマツは球果(松ぼっくり・松かさ)をつけるが、そのままでは鱗片が開かず、種子が散布されない。しかし、□⑦がハイマツの球果から種子を集め、地面に貯蔵し、その回収をまねがれた種子が発芽することにより分布を広げる。
(ア) ライチョウ (イ) ニホンザル (ウ) イワヒバリ (エ) ホシガラス
7. ツキノワグマは、□⑧中心の雑食性で、信州の山(山岳・里山)の多くに生息する。登山などの際にツキノワグマとの遭遇を避けるため、クマが活発に活動する□⑨の行動を避けること、クマ鈴やラジオ、笛などを携帯して自らの存在をクマに知らせること、クマスプレーを携行し、ヘルメットを装着することが推奨されている。また特に子連れのクマに注意すること、にのひのする□⑩を放置しないことなどが注意喚起されている。
⑧ (ア) 肉食 (イ) 昆虫食 (ウ) 植物食 (エ) 魚食
⑨ (ア) 朝夕 (イ) 正午 (ウ) 深夜 (エ) 日中
⑩ (ア) 登山道具 (イ) 衣類 (ウ) 生ゴミ・食べ物 (エ) 高山植物
8. カモシカとニホンジカはともに大型草食哺乳類であるが、生態系の植生を改変するほどの影響力をもつのはニホンジカだけである。これには、ニホンジカは□⑪をもたず群れを形成するが、カモシカは季節を通じて□⑪をもつため、高密度化しにくい生態特性が関係している。
(ア) なわばり (イ) 角 (ウ) 家系 (エ) 多仔

9. 南アルプスやハヶ岳などの高山には、ニホンジカが夏季に定着するようになり、それらの山域ではお花畑が失われるほどの採食圧を受けるようになったが、信州大学の調査では、ニホンジカの高山への進出拡大後、わずか⑫ほどで植生が一変したとされる。

(ア) 5 年 (イ) 10 年 (ウ) 50 年 (エ) 100 年

10. 長野県内のチョウ類は、亜高山帯から高山帯に棲むミヤマモンキチョウや⑬、草原に生息する⑭やゴマシジミ、落葉広葉樹林の林床に生息するギフチョウやヒメギフチョウなど、バラエティ豊かな環境にさまざまな種が見られる。

(ア) オオルリシジミ (イ) アカボシゴマダラ (ウ) オオムラサキ (エ) タカネヒカゲ

(気象、天気図)

問 10 次の文中①～④にあてはまるものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

長野県の秋の気象の特徴は、台風の接近や①の影響で大雨となる場合があります。台風のコースにより県内に影響する地域が変わるので注意が必要です。晩秋になると、寒気が南下し、②に覆われ朝晴れると、盆地では放射霧や川霧が発生することが多くなります。

長野県の冬の気象の特徴は、一般的に③の「冬型の気圧配置」では、北部は雪の日が多く、県境付近を中心に降雪量が多くなります。④が通過したときは、県内全域で雪が降ることが多く、中部・南部を中心に大雪となるほか、北部でも大雪となる場合があります。

① (ア) 秋雨前線 (イ) 日本海低気圧 (ウ) 日本海寒帯気団収束帯 (JPCZ) (エ) 梅雨前線

② (ア) 移動性高気圧 (イ) オホーツク海高気圧 (ウ) 太平洋高気圧 (エ) シベリア高気圧

③ (ア) 南高北低 (イ) 北高南低 (ウ) 西高東低 (エ) 東高西低

④ (ア) 二つ玉低気圧 (イ) アリューシャン低気圧 (ウ) 日本海低気圧 (エ) 南岸低気圧

問 11 次の説明文にあてはまる気象現象等を選択肢から選び、記号を書きなさい。

1. 台風の周辺で、平均風速が毎秒 25 メートル以上の風が吹いているか、地形の影響などがない場合に、吹く可能性のある領域。通常、その範囲を円で示す。

(ア) 予報円 (イ) 暴風域 (ウ) 危険域 (エ) 強風域

2. 強い上昇気流によって鉛直方向に著しく発達した雲。雲頂の高さは1万メートルを超えて、成層圏まで達することもある。夏によくみられる。

(ア) 巻積雲 (イ) 層積雲 (ウ) 積雲 (エ) 積乱雲

3. 真夏の午後の入道雲に代表されるような内陸部や山岳部で発生する雷。

(ア) 熱雷 (イ) 寒雷 (ウ) 界雷 (エ) 落雷

問 12 次の天気記号がそれぞれ何を表しているか正式名称を書きなさい。

①	②	③
		

(登山の常識)

問 13 次の文中①～⑧にあてはまるもの及び組合せを選択肢から選び、記号を書きなさい。

1. ツアー登山でガイドが引率する顧客(登山者)の人数の比率①は、山岳遭難を防ぐうえでも重要な指標となるものである。

(ア) 引率ガイドポリシー (イ) ガイドレシオ (ウ) ガイド適正配置率 (エ) 引率ガイドライン

2. 令和7年(2025年)、長野県内で発生した山岳遭難は、358件・392人で、②-A年連続で過去最多を更新した。遭難が最も多かった山域は、北アルプスで約60%、次いで多かったのが②-Bの約11%だった。年齢別では、②-C歳代が最も多かった。

(ア) A: 3 B: 中央アルプス C: 50

(イ) A: 3 B: 八ヶ岳連峰 C: 60

(ウ) A: 2 B: 中央アルプス C: 50

(エ) A: 2 B: 八ヶ岳連峰 C: 60

3. 近年、公立中学校の学校登山は、生徒の安全確保の難しさや引率教員の負担の大きさ等から実施する学校が減少している。こうした課題に対応するため、③では、令和7年度から登山経験が豊富なボランティアを派遣する制度を始め、学校登山をサポートしている。

(ア) 長野県教育委員会 (イ) 長野県山岳遭難防止対策協会 (ウ) 長野県山岳総合センター
(エ) 信州大学

4. 遭難者の救助活動に出動するヘリコプターが遭難現場で使用するワイヤーウインチは④-Aと呼ばれる。また、ホバリングしているヘリコプターのローターが巻き起こす台風並みの凄まじい風は④-Bと呼ばれる。

(ア) A: ホイスト B: ダウンバースト

(イ) A: ホイスト B: ダウンウォッシュ

(ウ) A: レスキューザイル B: ダウンウォッシュ

(エ) A: レスキューザイル B: ダウンバースト

5. 山岳をテーマにした小説の題名と主な舞台となった山の組合せで誤っているものは⑤である。

(ア) 孤高の人(槍ヶ岳) (イ) 氷壁(八ヶ岳) (ウ) 強力伝(白馬岳) (エ) マークスの山(北岳)

6. 長野県内の常時観測火山において、令和8年5月に「噴火警戒レベル2」から「1」へと引き下げとなったのは、⑥である。

(ア) 焼岳 (イ) 浅間山 (ウ) 草津白根山 (エ) 御嶽山

7. 長野県警察が公表している令和7年山岳遭難統計で「転落・滑落」の原因として最も多いのは⑦によるものだが、これは別の登山者に道を譲ろうとした際などに発生するケースが見られる。

(ア) 踏み外し・スリップ (イ) バランスを失い

(ウ) 雪上スリップ (エ) つまづき・浮石に乗り

8. 「信州 山のグレーディング」は長野県内の⑧-Aの登山ルート of 難易度の情報を提供し、登山者が「⑧-B」をすることで山岳遭難の防止に役立てようと作成された。縦軸に1～10段階の⑧-Cの評価、横軸にA～Eの5段階の⑧-Dの評価がされている。

(ア) A: 123 B: 自分の力量にあった山選び C: 体力度 D: 技術的難易度

(イ) A: 231 B: 憧れの山選び C: 体力度 D: 技術的難易度

(ウ) A: 321 B: 憧れの山選び C: 技術的難易度 D: 体力度

(エ) A: 231 B: 自分の力量にあった山選び C: 技術的難易度 D: 体力度

(ガイディング技術)

問 14 救助における確保支点（アンカー）について、次の中から誤っているものを2つ選びなさい。（完答）

- ① 必ず2ヶ所以上の支点（アンカーポイント）を使用しなければならない。
- ② 個々の支点を連結したスリングの角度（内角）は、120度以下としなければならない。
- ③ 個々の支点をスリングで連結する際は、負荷の方向を考慮して均等に荷重がかかるようにしなければならない。
- ④ 強度表示が「⇄26 110 7」と記載のあるカラビナのオープンゲートの際のカラビナ強度は、10kNである。

問 15 搬送技術について、次の中から誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 顧客に不慮の事故があったときに備え、ガイドは人を背負って行動できる体力を有し、常に余力を持って行動する必要がある。
- ② 搬送には、スリングやハーネス、バックパック、ロープ、ストック、ツェルトなど、あらゆるものを使って行う方法がある。
- ③ 急な登りや下りにおいては、ロープによる確保を行う。
- ④ 交代の際の時間のロスや負傷者への負担を減らすため、搬送者の体力が尽きる直前で交代し、その回数を少なくする。

問 16 懸垂下降について、次の中から誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 作業は必ず全員がセルフビレイを取って行う。
- ② ガイド中の懸垂下降では、顧客の安全を確認するため、ガイドが最初に下りる。
- ③ 救助のための懸垂下降（アシストラッピング）では、負傷者はガイドよりも下方に固定し、負傷者が先に着地するように配慮する。
- ④ 救助のための懸垂下降（アシストラッピング）では、バックアップを取り、いつでも両手が離せるようにしておかなければならない。

問 17 次の中から、登山ガイドとして、携行の主たる目的がビバークでない装備を1つ選びなさい。なお、ガイディングの内容は無雪期の整備された一般登山道における日帰りの登山とし、いずれも登山計画においては積極的に使用する予定がないものとする。

- ① ツェルト
- ② ロープ
- ③ コンロ（ストーブ）
- ④ 1泊分以上の非常食

問 18 休憩場所の例として適当なものを1つ選びなさい。

- ① 落石の危険がある
- ② 転落、滑落の危険がある
- ③ 他の人の通行の邪魔になる
- ④ 風当たりが強い場所
- ⑤ 山側
- ⑥ ①～⑤はすべて休憩場所として適当でない。（解なし）

問 19 ルートガイディングに関する知識として正しいものを1つ選びなさい。

- ① ルートの下見は、なるべく近い条件で行う方が良いので、前年（1年前）の同時期に行うことが望ましい。
- ② 登山道に作られた人工の階段は、登山道を保護するためのもので、もっぱら歩きやすくするためのものではないが、そこを忠実に歩くように顧客を指導する。
- ③ 気象に起因した遭難は、突発的に襲来するアクシデントではないので、当日の天気予報を確認すれば避けることができる。
- ⑤ 2万5千分の1の地形図における等高線には、10m 間隔で記された計曲線と、50m 毎に太く表されている主曲線がある。

問 20 自然解説の説明として、誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 顧客がまぶしくないよう、説明時には太陽の位置に気を付ける。
- ② 希少種は、その山域の特徴的な動植物として積極的に説明する。
- ③ 立ち止まっての解説時は、一般登山者に配慮する。
- ④ 専門用語はできるだけ避けて、優しい言葉でわかりやすく説明する。

問 21 安全配慮に関する記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ① ガイドが登山道を案内するのは、単なる道案内ではないので、状況を見てフィックスロープを張ったり、顧客をロープで繋ぐなどして安全を期す必要がある。
- ② ロープワークの知識や技術を必要としないわかっている山だけを案内する場合でも、顧客の安全を確保するためにロープを所持することが望ましい。
- ③ 長野県において、指定登山道となっていない山域を案内する際には、登山計画書は作成しなくてよい。
- ④ 下山時には、登り以上に詳しく、的確に足場、手の置く場を声に出して案内する。

(セルフレスキュー)

問 22 下記の文章は、登山中に見られるリスクの特徴とその対応についてまとめたものである。

どんなリスクについて書かれたものか、選択肢から選び、記号を書きなさい。

- ① 徐々に進行し、初期の兆候が見られることが多い。ある程度は予防できるが、対応を誤ると命に関わる。対応としては、体力に合った行程を立て、登山中は適切な水分摂取を心がける。
- ② 登山道や斜面の状況により危険度が変わるため、ある程度は予見することができる。ただし、発生すると重大事故につながりやすい。対応としては、適切な靴を履き、荷重に加え、路面・傾斜の状況に応じて慎重に歩く。
- ③ 徐々に進行し、初期の兆候が見られることが多い。ある程度は予防できるが、対応を誤ると命に関わる。対応としては、天候に応じて行程を変更し、防寒具・雨具を準備するとともに十分なカロリー摂取を心がける。
- ④ 危険な場所は限られているが、その場所では突然発生し、命に関わることもある。対応としては、ヘルメットを着用し、常に上部に注意を払う。
- ⑤ 突然発生しやすく、非常に危険である。対応としては、危険な天候や時間帯を事前に避けるほか、現場でも空模様の変化を見て現場での迅速な判断に心がける。
- ⑥ 徐々に症状が現れることが多いが、対応を誤ると重症化することがある。対応としては、高山

(概ね 2500m 以上) に初めて登る場合は無理のない行動を心がけ、場合によっては引き返す判断も必要である。呼吸法によって発生をある程度抑えられる場合もある。

- (ア) 低体温症 (イ) 高山病 (ウ) 心臓発作 (エ) 落雷 (オ) 熱中症 (カ) 糖尿病
(キ) 落石 (ク) 転滑落

問 23 RICE 処置とは、肉離れや打撲、捻挫など外傷を受けたときの基本的な応急処置方法のことを言う。早期に RICE 処置を行うことで、内出血や腫れ、痛みを抑え、回復を助ける効果がある。この RICE 処置の「R・I・C・E」は 4 つの処置の頭文字から名付けられている。

それぞれの処置の内容を選択肢から選び、記号を書きなさい。

- ① R ② I ③ C ④ E

- (ア) 冷却 (イ) 加温 (ウ) 挙上 (エ) 安静 (オ) 保温 (カ) 放熱 (キ) 圧迫